

「移動通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証」 の対象サービス等について(案)

令和8年1月27日

事 務 局

1	モバイル・スタックテスト検証対象の選定基準	．．．．	2
2	モバイル・スタックテスト検証対象に係る検討の概要	．．．．	3
3	これまでの検証対象サービス等の再検証の要否	．．．．	4
4	基準① 料金が近接していること	．．．．	7
5	基準② 具体的な課題に基づく要望があること	．．．．	14
6	基準③ 検証の合理性	．．．．	18
7	本件検証の対象サービス等について	．．．．	20
8	その他の要望、意見	．．．．	21
9	今後のスケジュール	．．．．	25

- ガイドラインにおいては、MNO 3 社が提供するサービス・料金プラン（以下「サービス等※1」という）のうち、次の①から③までの要件を全て満たすものを検証対象とすることとしている。

※1 単一の料金プランの中で、利用者が各自のニーズに応じてデータ通信容量のオプションを選択するものについては、本件検証において、各オプションを個別の料金プランとして取り扱う。

- なお、**前回検証対象となったサービス等**については、接続料の算定等に関する研究会（以下、「研究会」という）第九次報告書（令和7年9月公表）において「利用者料金の低廉化や接続料等の上昇等、前回の検証からの状況変化がみられない限りにおいては、再度の検証を行わないことが適当」とされている。

基準①：料金が近接していること

MNO 3 社が現に提供しているサービス等のうち、その料金の月額相当額が、**MVNOが現に提供している同等のサービス等の料金の月額相当額を下回る、又はこれと近接している※2もの**

※2 MNOのサービス等にFTTHアクセスサービス、ワイヤレス固定ブロードバンドアクセスサービス（共用型）、モバイルルーターサービス及びケーブルテレビサービス（以下「セット割引適用サービス」という。）とのセット割引又は特定のクレジットカード等を用いた決済方法により利用者料金を支払うことを要件とする割引（以下「特定決済方法割引」という。）が存在する場合は、**当該セット割引及び特定決済方法割引を適用した料金**とMVNOのサービス等の料金（MVNOのサービス等にもセット割引適用サービスとのセット割引又は特定決済方法割引が存在する場合、当該セット割引及び特定決済方法割引を考慮した料金）を比較する。

基準②：具体的な課題に基づく要望があること

①に示すサービス等のうち、MVNO又はその関連団体から**具体的な課題に基づいて**本件検証の対象とすべき旨の**要望が寄せられたもの**

▶「具体的な課題」の例

- MVNOからMNO 3 社へ継続的に利用者が移行していることが定量的に明らかである場合
- MVNOが①に示すサービス等と同等の価格で競合サービス等を提供することが困難であることが立証出来る場合

基準③：検証の合理性が認められること

②において要望が寄せられたサービス等のうち、検証を行う**合理性があることが有識者会合において認められたもの**

（前回検証対象サービス等）

前回の検証対象となったサービス等については、利用者料金の低廉化や接続料等の上昇等、**前回の検証からの状況変化が見られない限りにおいては、再度の検証を行わないことが適当**（接続料の算定等に関する研究会第九次報告書（令和7年9月公表））。

■ MVNOからの要望があったサービス等（MVNO委員会、IIJ及びオプテージのいずれかが資料に記載したMNOのサービス等）

	NTTドコモ	KDDI	ソフトバンク
大容量帯	<p>オプテージ要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ahamo（大盛りオプション含む） ・ahamo(30GB) 	<p>IIJ要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UQ mobile トクトクプラン2 (30GB) ・povo (360GB/365日) 	<p>オプテージ要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Y!mobile シンプル3M(30GB/30+5GB) ・LINEMO ベストプランV(30GB)
小容量帯	<ul style="list-style-type: none"> ・ドコモmini (4GB) ・ドコモmini (10GB) <p>IIJ要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・UQ mobile トクトクプラン2 (~5GB) ・povo (60GB/365日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Y!mobile シンプル3S(5GB) ・LINEMO ベストプラン(~3GB)

※UQ mobile トクトクプラン2 (~5GB) 及びLINEMO ベストプラン (~3GB) は段階料金の1段目

■ 検討結果（案）の概要

	ahamo (30GB)	ドコモmini (4GB)	ドコモmini (10GB)	UQ mobile トクトクプラン2 (30GB)	povo 360GB/365日	Y!mobile シンプル3 M (30GB)	LINEMO ベストプランV (30GB)
再検証要否	× (R6検証済)	—	—	—	—	—	—
基準① 料金近接性	○	○	×	×	○	○	○
基準② 具体的な課題に 基づく要望	○	○	○	○	○	○	×
(要望有無)	・ IIJ要望 ・ オプテージ要望 (大盛りオプション含む)	・ IIJ要望	・ IIJ要望	・ IIJ要望	・ IIJ要望	・ IIJ要望 ・ オプテージ要望	・ IIJ要望
基準③ 検証合理性	×大盛りオプションについては具体的な課題感が不明。				○利用実績ができたため検証すべき		
今次検証対象	—	○	—	—	○	○	—

これまでの検証対象サービス等の再検証の要否

- 令和6年度までに行われたモバイル・スタックテストの概要は、以下のとおり。
 - ・ モバイルスタックテスト指針に基づき、研究会における検討を踏まえ、MVNOから要望が寄せられたサービス等のうち、以下のサービス等を検証対象サービス等として決定。
 - 令和4年度：NTTドコモの「ahamo」(20GB)、KDDIの「povo2.0」(3GB)、ソフトバンクの「LINEMOミニプラン」(3GB)
 - 令和5年度：NTTドコモの「irumo」(3GB及び6GB)、KDDIの「UQ mobile」(4GB)、ソフトバンクの「Y!mobile」(4GB)
 - 令和6年度：NTTドコモの「ahamo」(30GB・大盛りオプションを除く)、KDDIの「UQ mobile」(30GB)、ソフトバンクの「Y!mobile」(20GB+10GB)
 - ・ MNO3社は、検証対象サービス等について、モバイルスタックテスト指針に基づき検証を実施し、**いずれも「接続料等」が「利用者料金」を下回っている**との結果を公表。研究会においてMNO3社の検証結果の妥当性を確認したところ、**検証対象サービス等の利用者料金と接続料等との関係は、価格圧搾による不当な競争を引き起こすものではない**と考えることが適当とされた。
- 今般、MVNOから、**これまでの検証対象サービス等について再度要望が寄せられたところ、まずは前回検証時から利用者料金や接続料等について状況変化が見られるか**について確認し、検証の必要があるかどうかを検討する。

- 接続料の算定等に関する研究会第九次報告書（令和7年9月公表）（抜粋）

<次回以降の検証に向けた方針>

今回検証対象となったいずれのサービス等についても、利用者料金による収入と当該サービス等の提供に必要と考えられる設備等費用の差分が営業費相当額を下回らないものであり、当該対象サービス等の利用者料金と接続料等との関係は価格圧搾による不当な競争を引き起こすものではないと認められたことから、今回の検証対象となったサービス等については、**利用者料金の低廉化や接続料等の上昇等、今回の検証からの状況変化がみられない限りにおいては、再度の検証を行わない**ことが適当である。

どのような状況変化があった場合に再度の検証を行うことが適当かについては、特に要件③の検証の合理性が認められるかどうかの観点から、本研究会について、都度、モバイルスタックテスト指針に示された要件に沿って、総合的に判断することが適当である。

MVNO意見

- これまでの検証対象サービス等のうち、**ahamo (30GB)** について、MVNOのサービス等と**料金が近接**しており検証を要望する。（MVNO委員会、IIJ）
- これまでの検証対象サービス等のうち、**LINEMO ベストプラン（～3GB）** について、MVNOのサービス等と**料金が近接**しており検証を要望する。（MVNO委員会）

MNO意見

- **ahamo (30GB)** は、過去検証時から**利用社料金の改定や接続料等の上昇はなく、競争環境の変化は認められないため、再検証の必要はない**。（NTTドコモ）
- **LINEMO ベストプラン（～3GB）** は、過去に検証済みであり、**特筆すべき状況変化はないため検証は不要**。令和6年度検証において価格圧搾による不当な競争を引き起こすものではない旨、公表済み。同検証時と比較して、①利用者料金（3GB）に変更なし、②データ接続料は大幅に低下。指針改正に伴い考慮すべき割引（セット割引・特定決済方法割引）も存在せず。（ソフトバンク）

これまでの検証対象サービス等の状況変化

赤枠内構成員限り

5

○ これまでの検証対象サービス等について、検証時からの利用者料金及び接続料等に係る状況変化は以下のとおり（既に受付を停止したものを除く。）。

これまでの 検証対象 サービス等	利用者料金 (*1)		接続料等						セット割、 特定決済 方法割引の 対象
			音声接続料等				データ接続料		
	音声接続に係る基本料		音声接続料						
	検証時	2026年1月 現在	検証時	2026年1月 現在 (*2)	検証時	2026年1月 現在	検証時	2026年1月 現在 (*3)	
令和4年度検証									
povo2.0 (3GB)	990円	990円 (-)			9.35円/3分	8.81円/3分 (▲5.8%)	21.2万円 /10Mbps	10.1万円 /10Mbps (▲52.4%)	対象外
LINEMO (3GB)	990円	990円 (-)			9.27円/3分	9.82円/3分 (+5.9%)	18.8万円 /10Mbps	8.9万円 /10Mbps (▲52.7%)	対象外
※ ahamoは、実質的な利用者料金の改定が行われており、状況変化が認められるため、令和6年度に再度検証を実施。 検証対象となったLINEMO(3GB)は新規受付停止済みだが、新プラン(LINEMOベストプラン)でも~3GBの利用者料金は同額。									
令和5年度検証									
※ 検証対象となったirumo(3GB及び6GB)、UQ mobile(4GB)、Y!mobile(4GB)は新規受付停止済み。									
令和6年度検証									
ahamo (30GB)	2,970円	2,970円 (-)			7.47円/3分	8.21円/3分 (+9.9%)	12.8万円 /10Mbps	10.8万円 /10Mbps (▲15.5%)	対象外
※検証対象となったUQ mobile(30GB)、Y!mobile(20GB+10GB)は新規受付停止済み。									

(*1) 税込表示 (*2) 緊急通報等に係る卸料金（コストベース）を含む

(*3) MVNOから本件検証を実施する旨の要望があった時点で、MVNOがMNOに支払っている予測接続料 (*4) 課金情報提供機能を含む

(*5) 緊急通報等に係る卸料金（コストベース）は、接続約款に金額を公表していないため、構成員限り

考え方（案）

- MVNOは、これまでの検証対象サービス等のうち、ahamo（30GB）及びLINEMO ベストプラン（～3GB）について、MVNOのサービス等と料金が近接しており検証を要望している。
- このうち、LINEMO ベストプラン（～3GB）については、昨年度の検証時にも再検証の要否について検討しているが、昨年度同様、利用者料金についてはこれまでの検証時から変化がなく、接続料等についてはこれまでの検証時よりも低廉化しており、「利用者料金と接続料等との関係は価格圧搾による不当な競争を引き起こすものではないと考えることが適当である」とされたこれまでの検証時から状況変化が見られないと考えられる。
- amamo（30GB）については、実質的な利用者料金の改定が行われており、令和4年度の検証時から状況変化が認められるため、昨年度に再検証を実施した。昨年度検証時と比較すると、利用者料金については変化がなく、接続料等は低廉化しており、前回の検証時から状況変化が見られないと考えられる。
- 以上のことから、ahamo（30GB）及びLINEMO ベストプラン（～3GB）については、再度の検証は不要とすることが適当ではないか。

基準①：料金の近接（大容量・30GB）

MVNO意見

- ahamo (30GB)、povo2.0 (360GB/365日を1か月当りに換算)、UQ mobile トクトクプラン2 (30GB)、LINEMO ベストプランV (30GB) 及び Y!mobile シンプル3 M (30GB/30GB+ 5GB) はMVNOのサービス等の料金と近接又は下回る。（MVNO委員会、IIJ）
 - ahamo (30GB) 及び Y!mobile シンプル3 M (30GB/30GB+ 5GB) はMVNOのサービス等の料金と近接又は下回る。（オプテージ）
- ※ povo2.0 (360GB/365日を1か月当りに換算) 及び Y!mobile シンプル3 Mについて、MVNO委員会は音声準定額込みで、IIJ及びオプテージはデータ通信料金のみで、それぞれ比較。Y!mobile シンプル3 Mについて、IIJは (30GB+ 5GB) で比較。

MNO意見

- ahamo (30GB) は、競争環境の変化は認められないため、**再検証の必要はない**。（NTTドコモ、再掲）
- UQ mobile トクトクプラン2 (~ 5GB、30GB) は**MVNO料金を上回っており、検証は不要**。povo2.0 (360GB/365日) は、月毎に利用容量が設定されているMVNO等のプランと比べ、**料金プラン設計が大きく異なっていることから競合プランとは言えず、検証は不要**。（KDDI）
- Y!mobile シンプル3 Mプラン (30GB/30GB+ 5GB) の方が割引適用後料金が安価であり、また、営業費相当額が高いため、同プランを検証すれば、**LINEMO ベストプランV (30GB) の検証は不要**。（ソフトバンク）

大容量帯 プラン	MVNOプラン		MNOプラン					
	IIJmio	mineo	ahamo	povo2.0	UQ mobile	LINEMO	Y!mobile	
データ容量	35GB	30GB	30GB	360GB/365日を 1ヶ月当りに換算	30GB			
データ通信料金	¥2,400	¥2,178	¥2,970	¥2,200(*1)	¥4,048	¥2,970	¥4,158	
セット割引総額	(- ¥660)	(- ¥330)	-	-	-¥1,100	-	- ¥1,650	
家族割引	- ¥100	- ¥55	-	-	(- ¥550) (*2)	-	(- ¥1,100) (*2)	
特定決済方法割引	-	-	-	-	-¥220	-	- ¥550	
音声5分定額料金	¥500	-	基本料に含む	¥550	-	基本料に含む	-	
音声10分定額料金	¥700	¥550	-	-	¥880	-	¥880	
月額 料金	データ通信料金のみ	¥2,300	¥2,123	-	¥2,200	¥2,728	-	¥1,958
	音声5分定額込み	¥2,800	-	¥2,970	¥2,750	-	¥2,970	-
	音声10分定額込み	¥3,000	¥2,673	-	-	¥3,608	-	¥2,838
備考	(*3)	(*3)	R6検証済				(*3)	

(*1) 月額基本料金0円に、365日間有効の360GBトッピング料金 (26,400円) を1か月間当りに換算したものを加算。(*2) セット割引との併用不可。

(*3) MVNOは、MVNOのFTTHセット割引額は全額FTTHから割り引かれているとして、MVNOの料金にはFTTHセット割引を適用せず、MNOの料金にはセット割引を全額適用して比較。

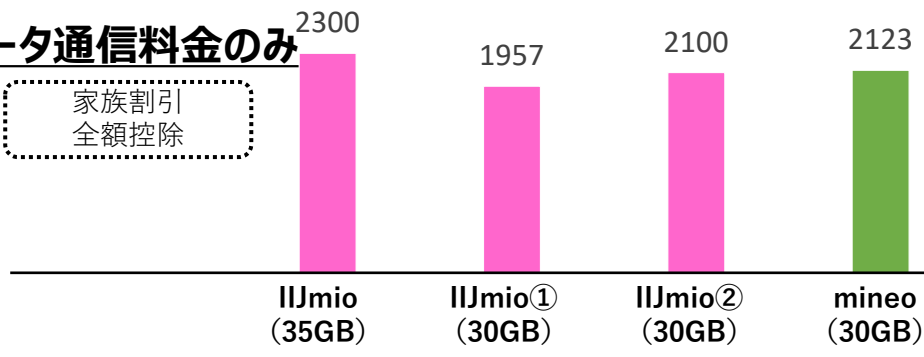
※各社プランの内容は2025年12月10日時点のもの。料金は税込。

(MVNO委員会資料、IIJ資料及びオプテージ資料等を参考に総務省で作成)

基準①：料金の近接（大容量・30GB）

・データ通信料金のみ

家族割引
全額控除

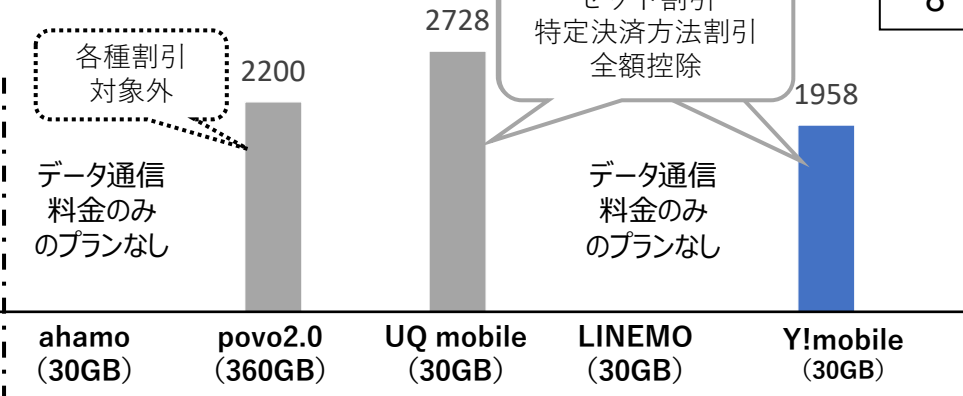


各種割引
対象外

データ通信
料金のみ
のプランなし

セット割引
特定決済方法割引
全額控除

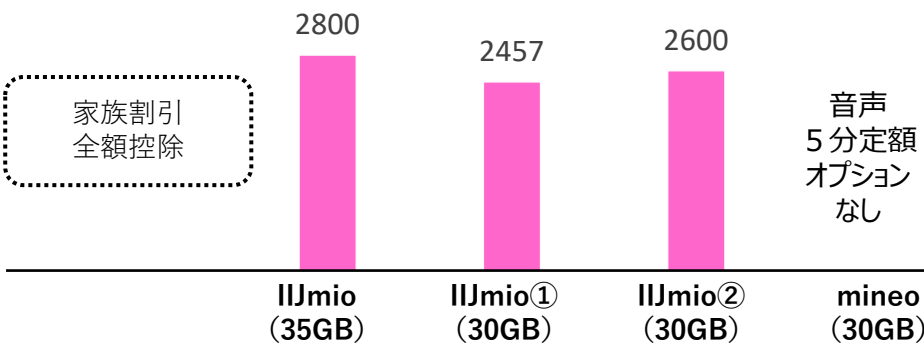
データ通信
料金のみ
のプランなし



	IJmio (35GB)	IJmio① (30GB)	IJmio② (30GB)	mineo (30GB)	ahamo (30GB)	povo2.0 (360GB)	UQ mobile (30GB)	LINEMO (30GB)	Y!mobile (30GB)
価格	¥2,300	¥1,957	¥2,100	¥2,123	-	¥2,200	¥2728	-	¥1,958
価格比 (対IJmio①)	-	-	-	-	-	+12%	+39%	-	0%
価格比 (対IJmio②)	-	-	-	-	-	+5%	+30%	-	-7%
価格比 (対mineo)	-	-	-	-	-	+4%	+28%	-	-8%

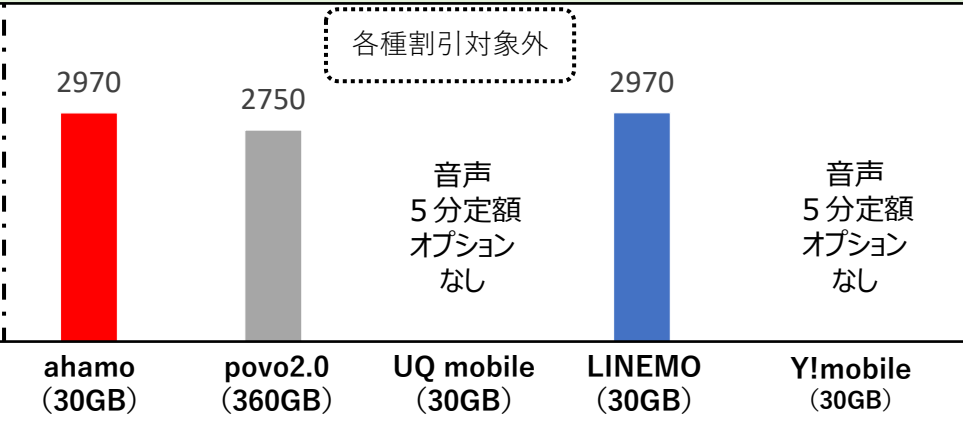
・データ通信料金+音声5分定額

家族割引
全額控除



音声
5分定額
オプション
なし

各種割引対象外

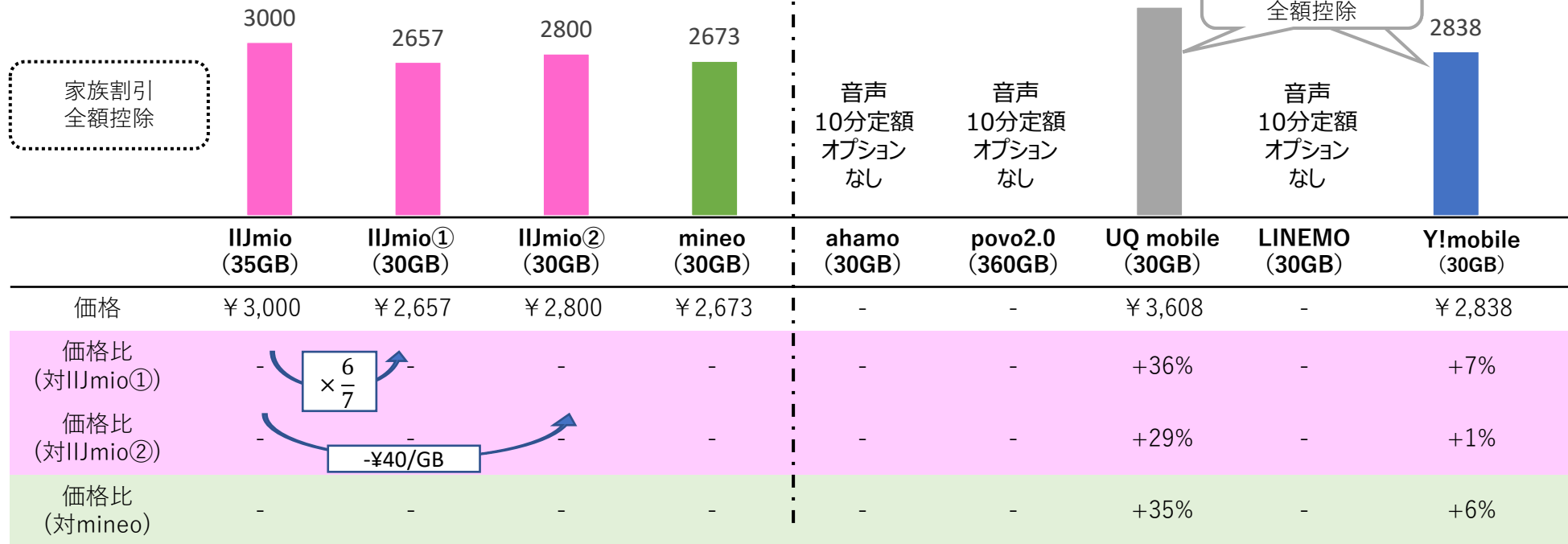


音声
5分定額
オプション
なし

音声
5分定額
オプション
なし

	IJmio (35GB)	IJmio① (30GB)	IJmio② (30GB)	mineo (30GB)	ahamo (30GB)	povo2.0 (360GB)	UQ mobile (30GB)	LINEMO (30GB)	Y!mobile (30GB)
価格	¥2,800	¥2,457	¥2,600	-	¥2,970	¥2,750	-	¥2,970	-
価格比 (対IJmio①)	-	-	-	-	+21%	+12%	-	+21%	-
価格比 (対IJmio②)	-	-	-	-	+14%	+6%	-	+14%	-

・データ通信料金+音声10分定額



考え方（案）

- **ahamo (30GB)** については、MVNOの料金との近接度合いが高い（14%～21%）ため、**基準①を満たすとみなすことが適当**ではないか。
- **povo2.0 (360GB/365日)** については、1ヶ月あたりに換算して比較した場合、MVNOの料金の料金との近接度合いが高い（4%～12%）ため、**基準①を満たすとみなすことが適当**ではないか。
- **UQ mobile トクトクプラン2 (30GB)** については、セット割引及び特定決済方法割引を全額控除した場合でも、MVNOの料金との近接度合いが高いとは言えず（28%～39%）、**基準①を満たしていない**のではないかと。
- **LINEMO ベストプランV (30GB)** については、MVNOの料金との近接度合いが高い（14%～21%）ため、**基準①を満たすとみなすことが適当**ではないか。
- **Y!mobile シンプル3 M (30GB/30GB+ 5GB)** については、セット割引及び特定決済方法割引を全額控除した場合、MVNOの料金との近接度合いが高く（-8%～7%）、特にIIJmio②及びmineoの料金を下回っていることから、**基準①を満たすとみなすことが適当**ではないか。

基準①：料金の近接（大容量・110GB）

MVNO意見

- **ahamo（30GB+80GB増量オプション）**はMVNOのサービス等の料金と近接又は下回る。（MVNO委員会、オプテージ）
- ahamoについては昨年度検証済みであるが、当社50GBプラン導入後も高い水準で離脱が継続していることから、**ahamo大盛りオプションを含めて検証対象とすることを要望**。（オプテージ）

MNO意見

- **ahamoの大盛りオプション**は、提供容量やプラン設計において**オプテージが提供する50GBのプランやMVNO委員会が提示するMVNOの100GBのプランとの近接性はなく、ガイドラインの検証要件を満たさない**。（NTTドコモ）

大容量帯 プラン		MVNOプラン			MNOプラン	
		(参考) IIJmio	mineo	イオンモバイル	ahamo	(参考) povo2.0
データ容量		55GB	50GB	100GB	30GB+80GB	300GB/90日を 1ヶ月当たりに換算
データ通信料金		¥ 3,900	¥ 2,948	¥6,358	¥ 4,950	¥ 3,277(*1)
セット割引総額		(- ¥ 660)	(- ¥ 330)		-	-
家族割引		- ¥ 100	- ¥ 55		-	-
特定決済方法割引		-	-		-	-
音声 5分定額料金		¥ 500	-	¥550	基本料に含む	¥ 550
音声10分定額料金		¥ 700	¥ 550	¥935	-	-
月額 料金	データ通信料金のみ	¥ 3,800	¥ 2,893	¥6,358	-	¥ 3,277
	音声5分定額込み	¥ 4,300	-	¥6,908	¥ 4,950	¥ 3,827
	音声10分定額込み	¥ 4,500	¥ 3,443	¥7,293	-	-
備考		(*2)	(*2)			

(*1) 月額基本料金0円に、90日間有効の300GBトッピング料金（9,834円）を1か月間当たりに換算したものを加算。

(*2) MVNOは、MVNOのFTTHセット割引額は全額FTTHから割り引いているとして、MVNOの料金にはFTTHセット割引を適用せず、MNOの料金にはセット割引を全額適用して比較。

※各社プランの内容は2025年12月10日時点のもの。料金は税込。

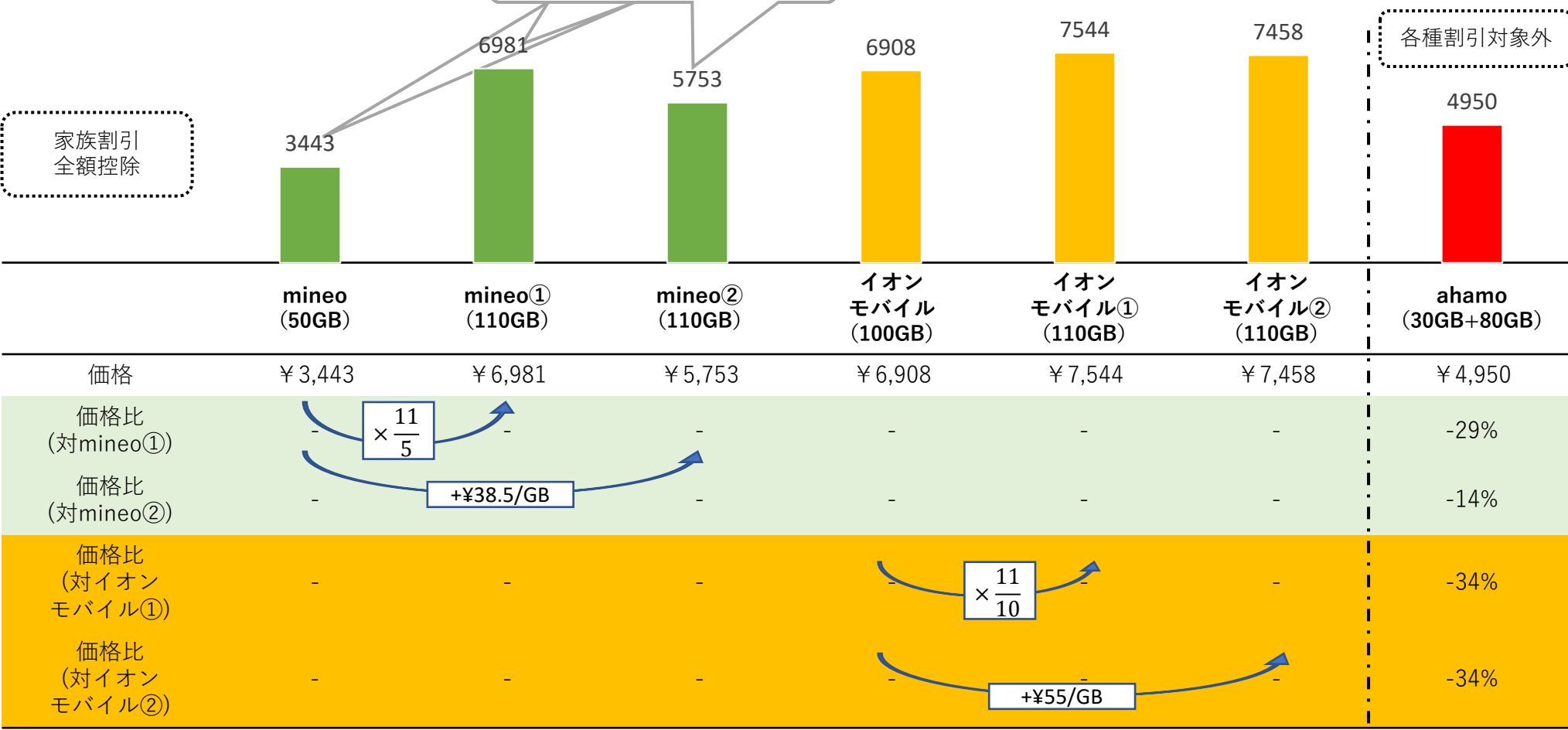
基準①：料金の近接（大容量・110GB）

・データ通信料金+音声5分定額

音声10分定額オプションで比較

家族割引
全額控除

各種割引対象外



考え方（案）

○ **ahamo (30GB+80GB)** については、要望するオプションには同規模の容量のサービス等は存在しないが、MVNOの最大容量のサービス等を110GBに換算したものと比較した場合、MVNOの料金を下回っているため、**基準①を満たすとみなすことが適当**ではないか。

基準①：料金の近接（低容量帯）

MVNO意見

- ドコモmini（4GB）、povo2.0（60GB/365日を1か月あたりに換算）、UQ mobile トクトクプラン2（5GB）、LINEMO ベストプラン（～3GB） 及び Y!mobile シンプル3 S（5GB） は、MVNOのサービス等の料金と近接している状況（固定通信とのセット割引及び特定決済方法割引を考慮）。（MVNO委員会）
- ドコモmini（4GB） 及び ドコモmini（10GB） は、MVNOのサービス等の料金と近接している状況（固定通信とのセット割引及び特定決済方法割引を考慮）。（IIJ）

MNO意見

- ドコモmini（4GB） は、2025年6月に提供開始したプランであり、MVNO委員会が提示するMVNOの5GBのプランとの近接性が確認でき、モバイルスタックテストの指針（以下、GL）の検証対象の要件を満たすことから、検証対象とすることに異論はない。ドコモmini（10GB） は、2025年6月に提供開始したプランであるが、提供料金においてIIJが提供する10GBプランとの近接性はなく、GLの検証要件を満たさない。（NTTドコモ）
- UQ mobile トクトクプラン2（5GB） は、MVNO各社のプラン料金を上回っており検証は不要。povo2.0（60GB/365日） は、月毎に利用容量が設定されているMVNO等のプランと比べ、料金プラン設計が大きく異なっていることから競合プランとは言えず、検証は不要。（KDDI）
- LINEMO ベストプラン（～3GB） 及び Y!mobile シンプル3 S（5GB） は、過去に同等のプラン等を検証済であり、特筆すべき状況変化はないため検証は不要。（ソフトバンク）

低容量帯 プラン	MVNOプラン			MNOプラン					
	IIJmio		mineo	ドコモmini	ドコモmini	povo2.0	UQ mobile	LINEMO	Y!mobile
データ容量	5GB	10GB	7GB	4GB	10GB	60GB/365日を 1ヶ月あたりに換算	5GB	3GB	5GB
データ通信料金	¥950	¥1,400	¥1,518	¥2,750	¥3,850	¥1,100(*1)	¥2,948	¥990	¥3,058
セット割引総額	(- ¥660)	(- ¥660)	(- ¥330)	- ¥1,210	- ¥1,210	-	- ¥1,100	-	- ¥1,650
家族割引	- ¥100	- ¥100	- ¥55	-	-	-	-	-	(- ¥1,100) (*2)
特定決済方法 割引	-	-	-	- ¥550	- ¥550	-	- ¥220	-	- ¥550
月額料金	¥850	¥1,300	¥1,463	¥990	¥2,090	¥1,100	¥1,628	¥990	¥858
備考				(*3)	(*3)		(*3)	R4検証済	(*3)

(*1) 月額基本料金0円に、365日間有効の60GBトッピング料金（13,200円）を1か月間あたりに換算したものを加算。(*2)セット割引との併用不可。

(*3) MVNOは、MVNOのFTTHセット割引額は全額FTTHから割り引いているとして、MVNOの料金にはFTTHセット割引を適用せず、MNOの料金にはセット割引を全額適用して比較。

※MVNOは、低容量帯については、全てのサービス等について、音声定額料金を含まない形で比較。

※各社プランの内容は2025年12月10日時点のもの。料金は税込。

(MVNO委員会資料、IIJ資料及びオプテージ資料等を参考に総務省で作成)

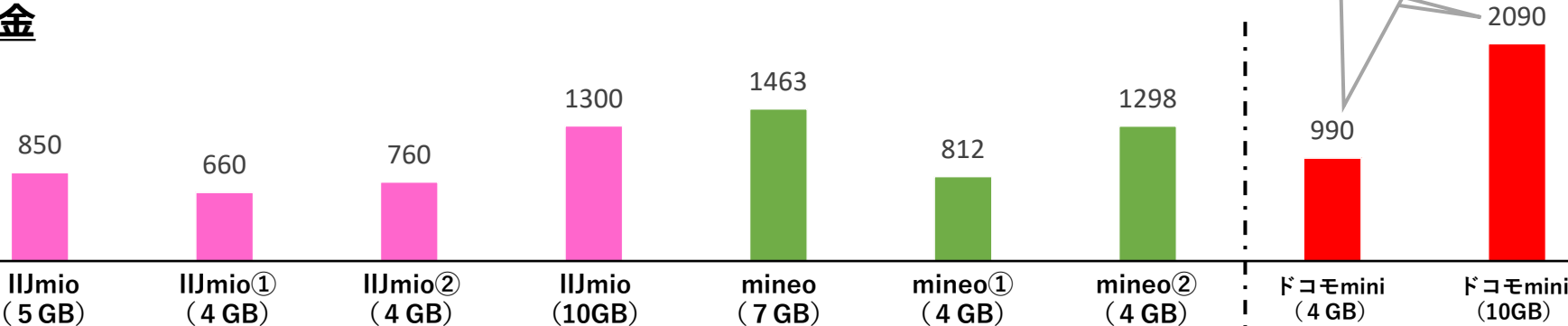
基準①：料金の近接（低容量）

セット割引
特定決済方法割引
全額控除

13

・データ通信料金

家族割引
全額控除



価格	¥850	¥660	¥760	¥1,300	¥1,463	¥812	¥1,298	¥990	¥2,090
----	------	------	------	--------	--------	------	--------	------	--------

価格比 (対IJmio①)	-	$\times \frac{4}{5}$	-	-	-	-	-	+50%	+61%
---------------	---	----------------------	---	---	---	---	---	------	------

価格比 (対IJmio②)	-	$-\text{¥}90/\text{GB}$	-	-	-	-	-	+30%	+61%
---------------	---	-------------------------	---	---	---	---	---	------	------

価格比 (対mineo①)	-	-	-	-	$\times \frac{4}{7}$	-	-	+22%	-
---------------	---	---	---	---	----------------------	---	---	------	---

価格比 (対mineo②)	-	-	-	-	$-\text{¥}55/\text{GB}$	-	-	-24%	-
---------------	---	---	---	---	-------------------------	---	---	------	---

考え方（案）

- **ドコモmini（4GB）**については、MVNOの料金との近接度合いが高く（-24%～50%）、特にmineo②の料金を下回っていることから、**基準①を満たすとみなすことが適当**ではないか。
- **ドコモmini（10GB）**については、セット割引及び特定決済方法割引を全額控除した場合でも、MVNOの料金との近接度合いが高いとは言えず（61%）、**基準①を満たしていない**のではないか。

MVNO意見

- 当社サービス等からMNOのサブブランド等（irumo等の低容量プラン、UQ mobile、Y!mobile）及び廉価プラン（ahamo、povo2.0、LINEMO）への転出割合は、前年度に引き続き高い傾向が続いている状況。（IIJ）
- 現在のモバイル市場におけるMNOとMVNOの間の競争においては、低容量プランから中容量プランへ主戦場が移行しつつある状況と考えるため、価格近接性のある中容量プランに対する検証・確認の重要性が高くなってきている認識（IIJ）
- MNO3社への転出は依然として大きな割合を占めている状況。特に、昨年度と同様にサブブランドへの転出は継続的に高水準。大容量帯（20GB以上）では、Y!mobile、ahamoへの転出割合が継続的に高い状況。（オプテージ）

考え方（案）

- MVNOからは、昨年度と同様、転出する利用者に対して実施した転出先に関するアンケートの結果により、ブランド単位での具体的な転出データが示された。これにより、以下の傾向が確認された。

- MVNOから寄せられた転出に関する課題を踏まえれば、大容量帯については、特にahamo(30GB)、povo2.0(360GB/365日)、UQ mobile トクトクプラン2(30GB)及びY!mobile シンプル3M (30GB/30GB + 5GB)、低容量帯については、特にドコモmini(4GB)及びドコモmini(10GB)が基準②を満たすとみなすことが適当ではないか。

MVNOの料金プランとMNOのサブブランド等及び廉価プランとの間の課題

- 当社サービスからMNOのサブブランド等(irumo等の低容量プラン・UQモバイル・ワイモバイル)と廉価プラン(ahamo・povo 2.0・LINEMO)への転出割合は、前年度に引き続き高い傾向が続いている状況です。

弊社サービス (mineo) の主な転出状況

2

- 弊社サービスからMNO3社への転出は、依然として大きな割合を占めている状況
- 特に、昨年度と同様にサブブランドへの転出は継続的に高い水準にある

弊社からMNO3社提供サービスへの転出状況



赤枠内構成員限り

弊社サービス（mineo）の主な転出状況（大容量帯）

3

○ 大容量帯（20GB以上）では、[Y!mobile、ahamoへの転出割合が継続的に高い状況](#)

弊社からMNO3社提供サービスへの転出状況（大容量帯：20GB以上）



■ ahamo大盛りオプションについて

MVNO意見

- **ahamo**は昨年度検証済みだが、当社50GBプラン導入後も高い水準で離脱が継続していることから、**大盛りオプションを含めて検証することを要望**。（オペテージ）（再掲）

MNO意見

- **ahamoの大盛りオプション**は、提供容量やプラン設計において**オペテージが提供する50GBのプランやMVNO委員会が提示するMVNOの100GBのプランとの近接性はなく、ガイドラインの検証要件を満たさない**。（NTTドコモ）（再掲）

考え方（案）

- **ahamo（大盛りオプション含む）**について、基準①の観点からは、MVNO委員会からMVNOの100GBプランと近接しているとの意見が、オペテージから自社の50GBプランを110GBに換算したものと比較し下回るとの意見が、それぞれ示されている。仮に、ahamo（大盛りオプション含む）について、ahamo(30GB)とは別の110GBのサービス等とみなした場合、オペテージの50GBプランとは容量に大きな違いがあり、必ずしも同等のサービス等とは言えないと考えられるが、MVNO委員会の提示するMVNOの100GBプランを110GBに換算したものと比較した場合、ahamo（大盛りオプションを含む）はMVNOの料金を下回っており、その観点からは**基準①（料金の近接）を満たすとみなすことが適当ではないか**。

基準②の観点からは、オペテージから提供された転出データからは、**転出先のahamoが大盛りオプション付きかどうかは判別できないこと**、オペテージには必ずしも**同規模の容量のサービス等は存在しないこと**を踏まえれば、ガイドラインにおいて「具体的な課題」の例とされている、「継続的に利用者が移行していることが定量的に明らかである場合」や「同等の価格で競合サービス等を提供することが困難であることが立証出来る場合」に該当しているとまでは言えず、**基準②（具体的な課題に基づく要望）を満たしていないのではないか**。

他方、ahamo(30GB)は基準②を満たしているため、NTTドコモから、ahamoについて大盛りオプションを含めて一つのプランとして提供している等の説明がされる場合には、ahamo(30GB)の検証に当たり大盛りオプションを含めて検証を行うことも考えられるが、同社からはそのような説明はされておらず、今般、必ずしも大盛りオプションを含めて検証を行う必要はないのではないか。

なお、ahamo(30GB)については、これまでの検証対象サービス等の再検証の要否の観点からは、再度の検証は不要とすることが適当と考えられることから、結果として、**今回の検証の対象としないことが適当**ではないか。

■ povo 360GB/365日について

MVNO意見

- **povo2.0 (360GB/365日を1か月当りに換算)** はMVNOのサービス等の料金と近接又は下回る。(MVNO委員会、IIJ) (再掲)
- 月額換算するとMVNOの料金を下回るものが存在し、MVNOの競争脅威となっているため、**モバイルスタックテストの実施が必要**だと考えます。**現在のMVNOに対する接続料・卸価格の水準では、月額基本料0円のサービスは提供不可能であり、競争対抗できるトッピングの価格設定とすることは非常に困難**です。(IIJ)
- MNOがMVNOへ**同等プランの卸提供がなく、MVNOより月額料金の安いMNOプランが存在し**、MVNOにとって**競争上の脅威となっていることから、モバイルスタックテストの実施が必要**だと考える。現在のMVNOに対する接続料・卸料金の水準では、**月額基本料0円の提供は難しく、競争対抗できる価格設定とすることも難しい**。(MVNO委員会)

MNO意見

- **povo2.0 (360GB/365日)** は、月毎に利用容量が設定されているMVNO等のプランと比べ、料金プラン設計が大きく異なっていることから競合プランとは言えず、**検証は不要**と考える。(KDDI) (再掲)
- povo2.0の料金はお客さまがご自身のライフスタイルに合わせて「**トッピング**」として様々な利用期間・料金体系の**データ通信容量や音声通話メニューを自由な選択で組み合わせる**ことによって設定される。
検証要望のある「60GB/365日・360GB/365日プラン」は、それぞれ365日という有効期限内に、購入したデータ通信容量をご利用いただくことを前提としたプランであり、必ずしも12か月間平均的にデータを利用されるわけではない。
povo2.0は、必要なコストはお客さまが適宜購入されるトッピングの売上で賄うことを前提としており、180日間有料トッピングのご購入がない場合は利用停止・契約解除になるため、お客さまに0円をご利用いただくことを意図したプランではない。(KDDI)

考え方(案)

- **povo2.0 (360GB/365日)** は、必ずしも12ヶ月間平均的にデータを利用されるわけではないが、そのような利用も可能であることを踏まえれば、基準①及び基準②の検討に当たっては、月2,200円/30GBの料金プランと見なして検討を行うことは一定の合理性があると考えられる。
昨年の検証では、提供開始直後で十分な利用実績が把握できないことから検証対象としないこととしたが、現在では十分な利用実績は把握可能と思われることから、**今回の検証の対象とすることが適当**ではないか。

検証対象サービス等（案）

- 基準①、②及び③を踏まえると、以下のサービス等について、本件検証の対象とすることが適当ではないか。

事業者	ブランド等	データ容量	サービス等	備考
NTTドコモ	ドコモ	4GB	ドコモ mini	2025年6月5日より提供開始
KDDI	povo2.0	360GB/ 365日	データ追加360GB(365日間)	—
ソフトバンク	Y!mobile	30GB (+ 5 GB)	シンプル3 Mプラン	2025年9月25日より提供開始

- なお、検証を行う場合の設備等費用の算定に用いる実績の対象期間、対象オプションの扱い等について確認したところ、各社の考えは以下のとおり。

NTTドコモ	<ul style="list-style-type: none"> ・実績の対象期間：2025年7月1日から12月31日まで ・対象オプション：「1G追加オプション」を算入 <p>【理由】 「1G追加オプション」は、各プランにおいて一時的なデータ利用量不足により、スポットでご利用いただくオプションとなります。そのため、単月ごとのお申込みが必要で、一度の申込みで翌月以降も継続的にご利用いただくものではないため、「1G追加オプション」は算入することが適当と考えます。</p>
KDDI	<ul style="list-style-type: none"> ・実績の対象期間：2025年1月1日から12月31日まで ・検証実施方法：対象期間中に360GB/365日トッピングを購入した利用者を対象者とし、利用者料金については対象者が対象期間中に購入した検証対象トッピング（検証対象トッピング購入後に追加購入したデータ及び音声トッピングを含む）の総収入を対象者数で除した金額、利用実績については対象者のデータ使用量及び音声利用実績に相当するものをそれぞれ対象者数で除したものと <p>【理由】 povo2.0「360GB/365日トッピング」は、365日という有効期限内に購入したデータ通信容量をご利用いただくことを前提としたプランであり、必ずしも12か月間平均的にデータを利用するとは限らないため、対象期間を本プランの有効期限である365日（12か月）に設定した検証を行うことが利用実態に即した検証方法であると考えます。 なお、移動通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証に関する指針にある、「設備等費用、営業費相当額及び利用者料金の算出方法」については、「各項目は月単位で算出することとし、月単位以外の形態で提供されているサービス等については、月額相当額に換算することとする」と規定されているところ、対象期間中の利用者料金・利用実績を、対応する対象者数（人・月）で除すことによって、実質的に月額相当額に換算された値になるものと考えます。</p>
ソフトバンク	<ul style="list-style-type: none"> ・実績の対象期間：提供開始日である2025年9月25日から12月31日まで ・対象オプション：従量オプションも含めY!mobileシンプル3 Mプランとして提供しているため、オプション非加入ユーザ・加入ユーザは分けずに検証を実施したいと考えます（昨年度Y!mobileシンプル2 Mプランの検証時も同様に実施しています）

○ その他、MVNO各社からの要望・意見及びそれに対するMNOからの意見は以下のとおり。

① 通信品質の差異とプラン価格の近接性

MVNO	MNO
<p>➤ MVNOと価格近接するMNOサブブランドは、MVNOと遜色ない料金水準でありながら、通信品質はMNOメインブランド並みとなっています。</p> <p>仮にMNOサブブランドと同等の通信品質を確保したうえでプラン設計をしたとしても、現状の接続料水準ではMNOサブブランドと同等の料金水準でサービスを提供することは到底不可能です。</p> <p>そのような状況で、MNOが自らMVNOに対抗するプラン価格を設定することは、MVNOにとって大きな競争脅威と受け止めております。 (IIJ)</p>	<p>➤ 接続料の算定等に関する研究会第8次報告書の考え方に示されたとおり、MNO・MVNO間の通信品質の同等性については、「検証対象サービス等の選定後に実際にMNOにおいて検証を行う際には、MNOの通信品質を前提として、MNOの接続料等と利用者料金の関係について確認を行うため、仮にMNO・MVNOに通信品質の差異がある場合でも、検証結果には影響しない」と理解しております。(KDDI)</p>

② 検証時の「営業費相当額」について

MVNO	MNO
<p>➤ 営業費相当額（第二種指定電気通信設備接続会計規則に基づく移動電気通信業務収支表の営業収益に対する営業費）では、人件費や広告宣伝費等の費用計上の按分や割合が非開示であるため、検証時には営業費相当額が直近1年間で大きな変化がなかったか等を注視いただき、大きな変化が認められる場合は、直近の営業費相当額での検証の必要性についてご議論いただければと思います。(IIJ)</p>	<p>➤ 第94回接続料の算定等に関する研究会にて事務局よりご発言があった通り、MNO各社の営業費比率が前年度と比べて著しく上昇しているような場合には、必要に応じて改めて検討することが適当であるとされたものと認識 (NTTドコモ)</p> <p>➤ 接続料の算定等に関する研究会第9次報告書の考え方に示されたとおり、「接続会計を基に営業収益の割合の直近5年間の平均値により営業費相当額を算出する現在の方法は、一定の合理性があると考えられることから、引き続き現在の方法を維持することとし、今後、MNO各社の営業費比率が前年度と比べて著しく上昇しているような場合には、必要に応じて改めて検討することが適当である」とされ、本スタックテストは上記考え方にに基づき実施されるものと考えております。(KDDI)</p> <p>➤ 直近1年間の営業費相当額では、その年のみ生ずる特有の要素を排除できず、一断面での検証となる可能性があることから、モバイルスタックテスト指針のとおり5年平均とすべきと考えますが、まずは、接続料算定研究会第9次報告書のとおり、「接続会計を基に営業収益の割合の直近5年間の平均値により営業費相当額を算出する現在の方法は、一定の合理性があると考えられることから、引き続き現在の方法を維持することとし、今後、MNO各社の営業費比率が前年度と比べて著しく上昇しているような場合には、必要に応じて改めて検討することが適当」と考えます。(ソフトバンク)</p>

③データ接続料の単価が上昇した場合の過去検証済みプランの再検証／④NTNサービスとのセット割引

③ データ接続料の単価が上昇した場合の過去検証済みプランの再検証

MVNO	MNO
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 一部のMNOにおいて、データ接続料は上昇の見込みが示されており、今後データ接続料の単価が上昇した場合は、過去に検証済みプランについても再検証をいただきたい（オペレータ） ➤ データ接続料は今後上昇・横ばいに転じる見通しが出されており、過去に検証済みのプランについても、データ接続料の単価が上昇した場合には再検証をいただきたい（MVNO委員会） 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 接続料の算定等に関する研究会第9次報告書の考え方に示されたとおり、「どのような状況変化があった場合に再度の検証を行うことが適切かについては、特に要件③の検証の合理性が認められるかどうかの観点から、本研究会において、都度モバイルスタックテスト指針に示された要件に沿った判断が適当」と認識しております。（KDDI）

④ NTNサービスとのセット割引

MVNO	MNO
<ul style="list-style-type: none"> ➤ セット割適用サービスについて、NTNサービスとのセット割引も開始されていることから、同様にセット割引適用対象として検証を要望（MVNO委員会） 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ NTNサービスの割引は、プランへの割引ではなく、当該NTNサービス単体に対する割引であるため考慮は不要。（KDDI） ➤ NTNサービスとのセット割引がモバイル市場に与える影響等について、必要に応じて確認していくことから始めていくべきと考えます。（ソフトバンク）

⑤その他

MVNO	MNO
<p>➤ MNO廉価プラン等（特に中～大容量プラン、無料通話オプション）を対象に、MVNO向け接続料（データ・音声）を原価として差し引いた場合の採算性を徹底的に検証いただきたい。（MVNO委員会）</p>	<p>—</p>
<p>➤ MNOに対し、廉価プラン等が内部補助によって不当に維持されていないことの会計的な説明を求めたい（MVNO委員会）</p>	<p>➤ スタックテストは価格圧搾による不当な競争を引き起こすことにならないかを確認する目的で実施するものであることから、GLに則って判断されるべきものとする（NTTドコモ）</p> <p>➤ モバイルスタックテストの目的は、移動通信分野における接続料等と利用者料金との関係の検証に関する指針に示されているとおり、「MNOとMVNO間のイコールフットイングを確保する観点から、第二種指定電気通信設備との接続に関する接続料及び当該設備を用いる卸電気通信役務の料金と利用者料金との関係の妥当性を検証する」ものであり、当該指針に沿って本スタックテストが実施されていると理解しております。（KDDI）</p> <p>➤ そもそも、スタックテスト検証で価格圧搾による不当な競争を引き起こすものではない旨確認を行うことで十分と考えます。なお、当社はソフトバンク・ワイモバイル・LINEMOといったプランごとの区分けでの会計は作成しておらず、ご要望されたような説明は不可能です。（ソフトバンク）</p>
<p>➤ 5G（SA方式）の機能開放においてはMVNOでも通信品質を確保することが重要であり、従来のピーク時基準の帯域課金では、ピークと非ピークの差拡大による費用対効果の低下が懸念される。帯域設定の柔軟化を事業者協議で進めるべきだと整理されているが、MNOが従量課金の選択肢を用意するなど議論を深める必要がある。（MVNO委員会）</p>	<p>➤ 第96回接続料の算定等に関する研究会において、構成員よりご発言があったとおり、「接続料に関しては、従量課金という考え方もあり得る中で、帯域課金の方がMVNOの予見性が高いということで帯域課金が選択されてきたという経緯がある」という点等も踏まえる必要がある。なお、現時点においてMVNOから時間単位による帯域設定変更の柔軟化の要望はいただいていない（NTTドコモ）</p> <p>➤ 接続料の算定等に関する研究会第9次報告書の考え方に示されたとおり、「帯域設定変更の柔軟化の要望については、まずは事業者間で協議を進めていくことが適当」と認識しております。（KDDI）</p> <p>➤ MNOはピークと非ピークの差による費用対効果も踏まえ、設備投資を行い、必要な帯域を確保しています。現行の帯域課金は、MVNOも同様の検討を行って必要な帯域を確保する必要がある点で、イコールフットイングは確保されています。また、従量課金化に関しては、「接続料に関しては、従量課金という考え方もあり得る中で、帯域課金の方がMVNOの予見性が高いということで帯域課金が選択されてきた」という経緯があります。（ソフトバンク）</p>

考え方（案）

① 通信品質の差異とプラン価格の近接性

- MVNOからは、仮にMNOと同等の通信品質を確保する場合、現在の接続料水準ではMNOと同等の料金水準でサービスを提供することが不可能との意見が示されている。
- モバイルスタックテストは、MNOとMVNO間のイコールフットイングを確保する観点から、MNOが設定する第二種指定電気通信設備との接続に関する接続料及び当該設備を用いる卸電気通信役務の料金と、MNOが設定する利用者料金との関係の妥当性を検証しているものであり、現在の検証には一定の合理性があると考え。他方、**MVNOの意見は、スタックテストというよりは現在の帯域課金データ接続料に対する意見とも考えられ、今後、5G（SA方式）のスライシング提供に対応したネットワーク開放ルールの在り方を検討する際に、参考とすることが適当ではないか。**

② 検証時の「営業費相当額」

- 研究会第九次報告書のとおり、接続会計を基に営業収益の割合の直近5年間の平均値により営業費相当額を算出する現在の方法は、一定の合理性があると考えられることから、引き続き現在の方法を維持することとし、今後、MNO各社の営業費比率が前年度と比べて著しく上昇しているような場合には、必要に応じて改めて検討することが適当ではないか。

③ データ接続料の単価が上昇した場合の過去検証済みプランの再検証

- 研究会第九次報告書のとおり、スタックテストの対象となったサービス等について、利用者料金の低廉化や接続料等の上昇等、今回の検証からの状況変化がみられない限りにおいては、再度の検証を行わないことが適当であるが、特に大容量プランについては、サービス等の提供に必要と考えられる設備等費用に占めるデータ接続料相当額の割合が相対的に大きいことから、費用配賦見直し等によるデータ接続料の上昇や、データ容量の増量に伴う平均使用通信量の増加については注視することが適当ではないか。

④ NTNサービスとのセット割引

- 今般の検証対象サービス等（案）には、衛星ダイレクト通信が料金に含まれるもの又は衛星ダイレクト通信とのセット割引等は存在しないと考えられるが、**今後、モバイルスタックテストにおける検証対象サービスに衛星ダイレクト通信又は衛星ダイレクト通信とのセット割引等が含まれる場合には、検証における扱いについて、注視が必要ではないか。**

⑤ その他

- 内部相互補助によって料金水準が維持されていることへの懸念については、モバイルスタックテストは、MNOが設定する第二種指定電気通信設備との接続に関する接続料及び当該設備を用いる卸電気通信役務の料金と、MNOが設定する利用者料金との関係の妥当性を検証しているものであり、その原因が内部相互補助にあるかどうかに関わらず、利用者料金による指定事業者の収入と当該サービス等の提供に必要と考えられる設備等費用の差分が営業費相当額を下回る場合には措置が求められることとなっていることから、その検証のために、内部相互補助に係る会計的な説明を求める必要はないのではないか。
- 帯域設定の柔軟化については、研究会第九次報告書のとおり、まずは事業者間で協議を進めていくことが適当ではないか。他方、**従量課金に係る意見は、スタックテストというよりは現在の帯域課金データ接続料に対する意見とも考えられ、今後、5G（SA方式）のスライシング提供に対応したネットワーク開放ルールの在り方を検討する際に、参考とすることが適当ではないか。**

時期	令和7年			令和8年			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
対象サービス等 決定		11/28 資料提出① (MVNO等)	12/19 資料提出② (MNO)	1/27 (本日) 対象サービス等決定			
スタックテスト 実施						MNOにおいて スタックテスト実施	
スタックテスト 結果の検証							本WGにおいて テスト結果の検証

(これまでの動き)

令和7年

- 11月28日 対象サービス等に関してMVNO等（テレコムサービス協会MVNO委員会、I I J 及びオプテージ）から総務省に資料提出
- 12月19日 対象サービス等に関してMNO 3社（NTTドコモ、KDDI 及びソフトバンク）から総務省に資料提出

令和8年

1月27日 接続政策委員会 接続料の算定等に関するWG 検証対象サービス等の決定（本日）

(今後の予定)

3月31日まで MNOにおいてスタックテスト実施、結果の公表

4月頃 接続政策委員会 接続料の算定等に関するWG 検証結果の検証